

平成28年度地方創生推進交付金 を活用した事業の実施報告

地方創生・総合戦略とは

中長期展望

I. 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口を確保

◆ 人口減少の歯止め

- ・国民の希望が実現した場合の出生率(国民希望出生率)
=1.8

◆ 「東京一極集中」の是正

II. 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP成長率
1.5～2%程度維持

基本目標

地方における安定した雇用を創出する

- ◆ 若者雇用創出数(地方)
2020年までの5年間で30万人 等

地方への新しいひとの流れをつくる

現状：東京圏年間10万人入超

- ◆ 地方・東京圏の転出入均衡(2020年)
 - ・地方→東京圏転入 6万人減
 - ・東京圏→地方転出 4万人増

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 結婚希望実績指標 80%(2010年68%)
- ◆ 夫婦子ども数予定(2.12)実績指標 95%
(2010年93%) 等

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆ 地域連携数など
※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

4分野の基本目標と数値目標

数値目標

- ・就業者数 92,000人程度を維持
- ・製造業の従業者41,000人程度を維持



ものづくり産業の強みを伸ばしつつ、産業の多様化にも取り組む

ものづくり産業の高度化や次世代成長産業への展開を進めながら、景気変動への対応力向上や、女性の活躍できる場として、多様な産業の創出を行う

数値目標

- ・0～9歳人口の転出超数を半減
(子育て世帯の転出超過を抑制)



住みたい・住み続けたいまちになる

転入者を受け入れるため、ニーズに合った宅地・住宅を供給するとともに、暮らしやすいまちとしてのイメージを定着させる

数値目標

- ・合計特殊出生率 1.8(2025年)
- ・第3子以降の出生率 268人/年



生涯のライフプランを描けるまちになる

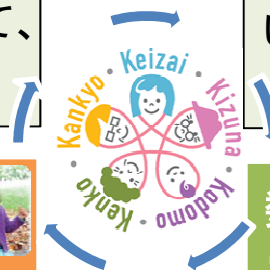
結婚から出産、子育て、教育の各ライフステージにおいて、安心して過ごせる仕組みを構築する

数値目標

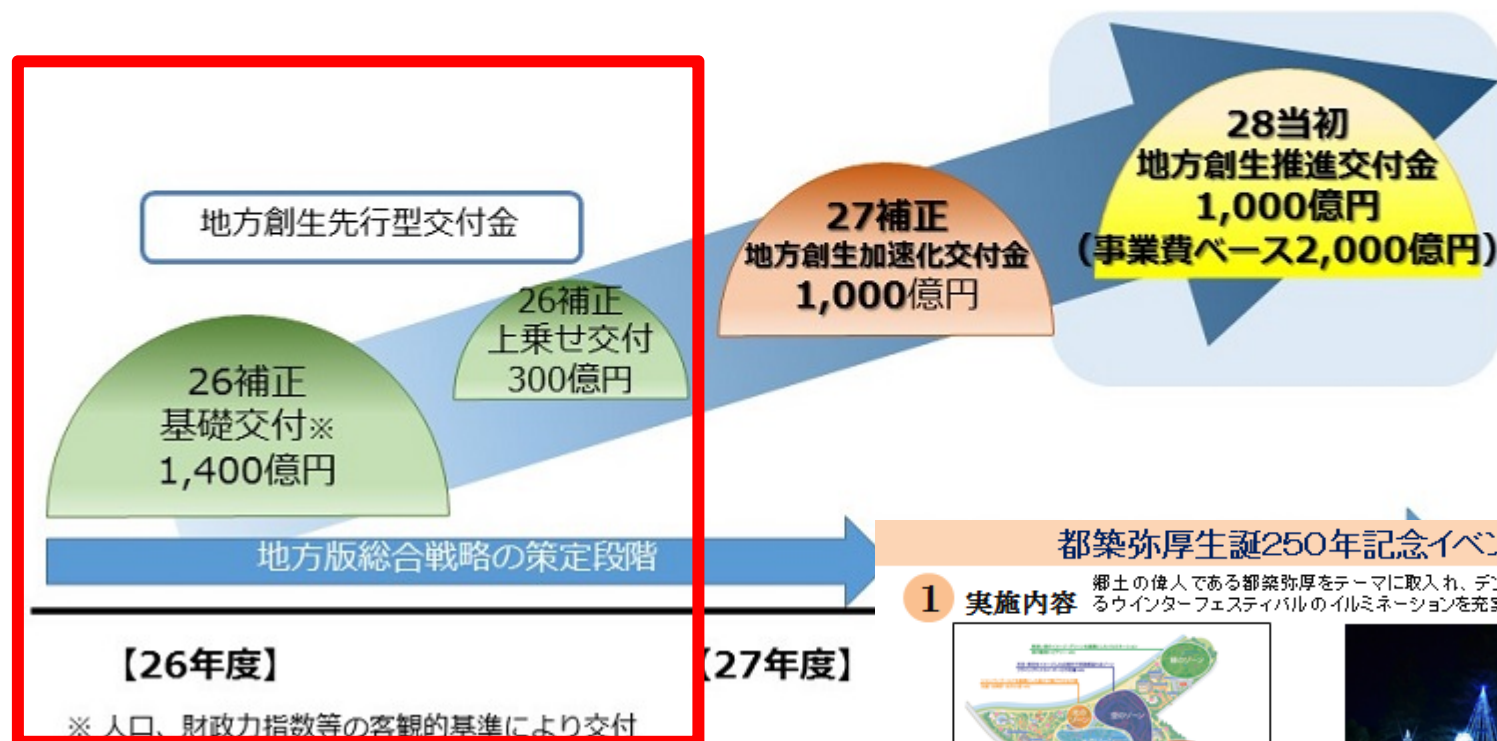
- ・健康であると感じている人の割合 73%

健幸に暮らせるまちになる
～健幸都市推進プロジェクト～

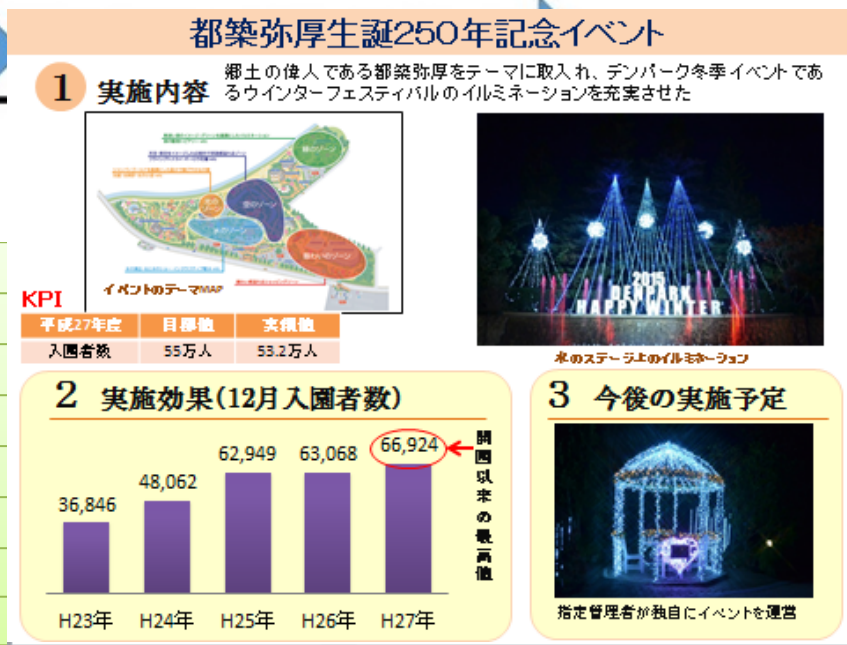
安城市で暮らす魅力を高めるため、生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまちを実現する



- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- K P I の設定とP D C Aサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援

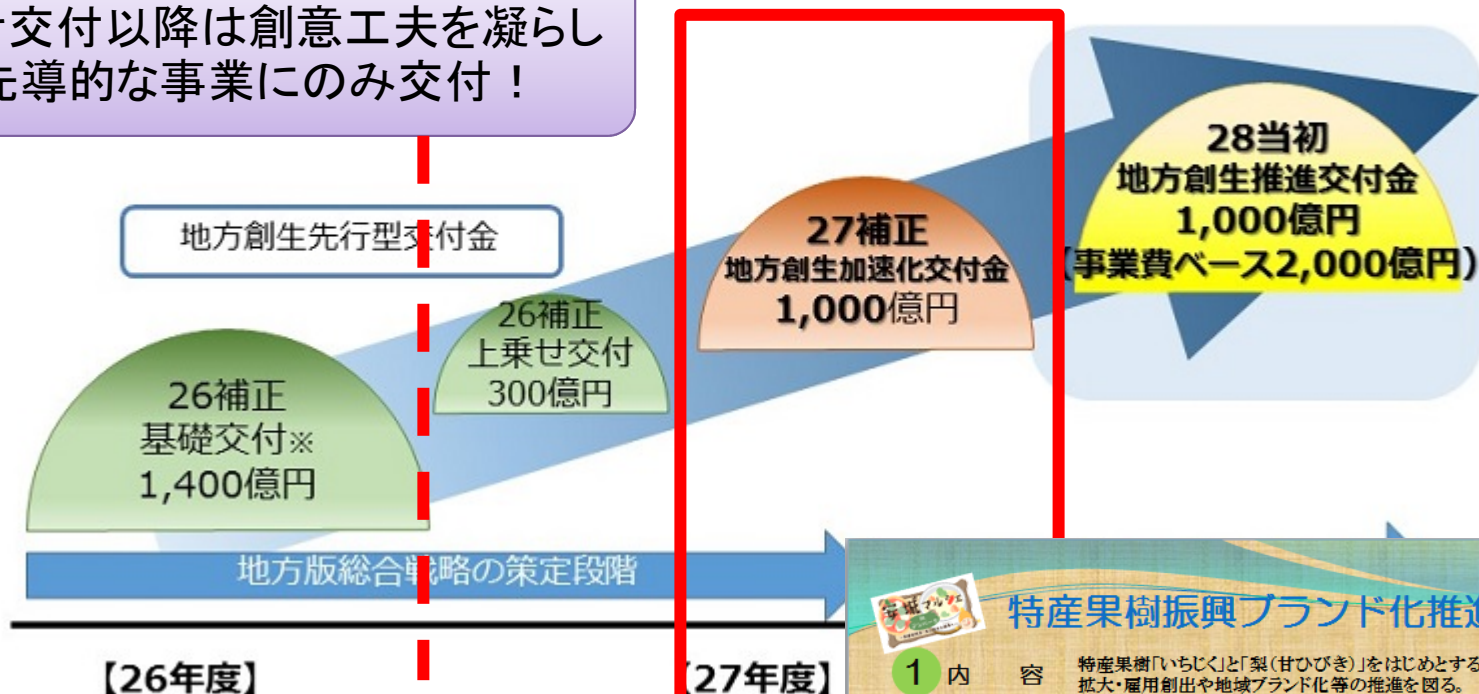


	名称	種類	交付金額(千円)
1	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業	基礎交付	5,996
2	コワーキング施設運営事業	上乗せタイプ I	21,275
3	観光案内所運営事業	基礎交付	17,158
4	丈山苑来苑者誘致事業	基礎交付	2,938
5	都築弥厚生誕250年記念イベント	タイプ I 代替	12,852
6	研究開発推進事業	タイプ I 代替	5,249
7	ものづくり人材育成事業	タイプ I 代替	566



- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- K P I の設定とP D C Aサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援

上乗せ交付以降は創意工夫を凝らした先導的な事業にのみ交付！



※ 人口、財政力指数等の客観的基準により交付

	名称	種類	交付金額(千円)
1	がんばる中小企業活性化事業	加速化 交付金	40,820
(1)	(中小企業ビジネス支援事業)		
(2)	(がんばる中小企業応援事業)		
(3)	(女性の再就職支援事業)		
2	特産果樹振興ブランド化推進事業	加速化 交付金	14,000
(1)	(地産地消推進事業)		
(2)	(生産総合対策事業)		

特産果樹振興ブランド化推進事業

1 内容 特産果樹「いちじく」と「梨(甘ひびき)」をはじめとする地域農産物の生産・販路拡大・雇用創出や地域ブランド化等の推進を図る。

2 実施状況

(1) 安城マルシェ イベント
安城マルシェ in デンパーク(平成29年1月28～29日)

(2) 安城梨・いちじく販売促進イベント
甘ひびき消費宣伝会(8月6～7日) いちじくまつり(8月18日)

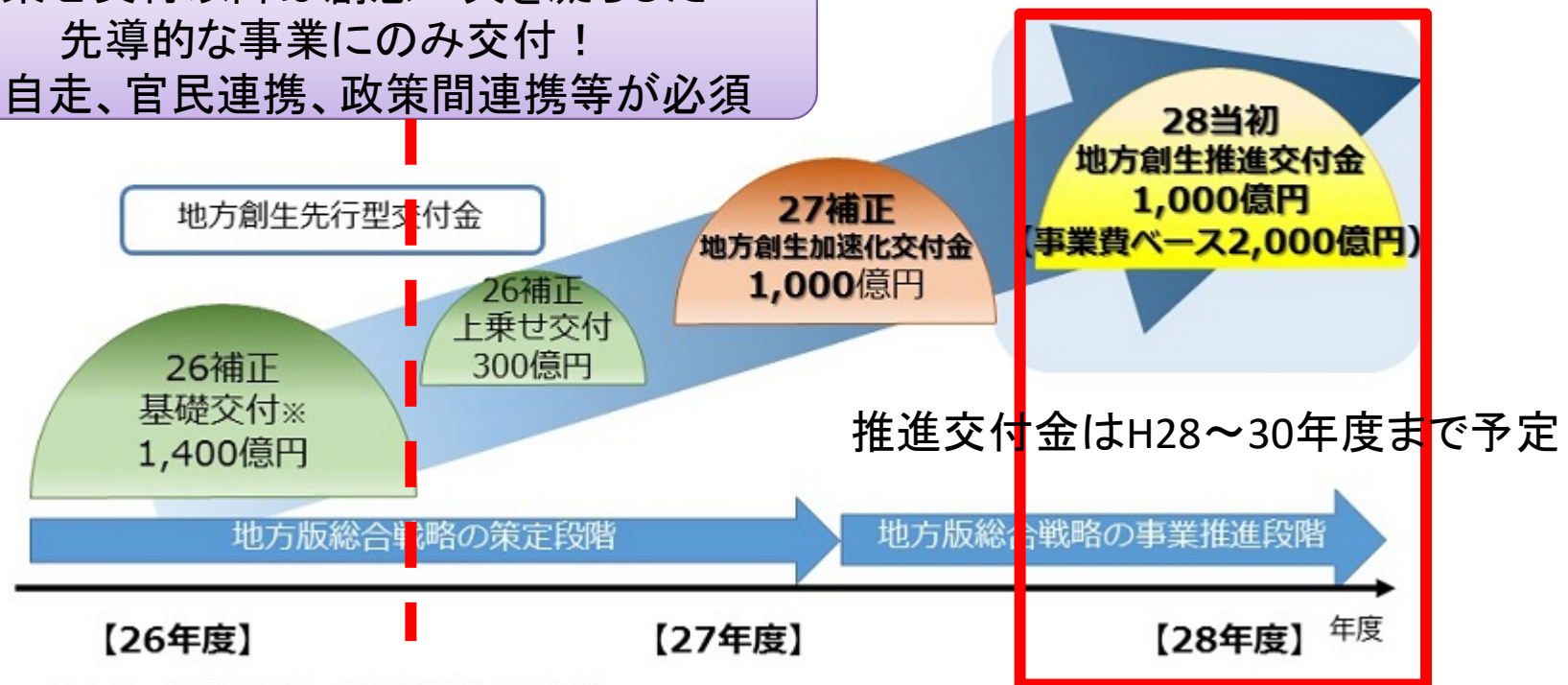
(3) いちじく研修ほ場整備
いちじく研修ほ場【福釜町地内】

3 実施効果、KPI達成状況

	目標値 (32年度)	実績値 (28年度)
新規就農者 (いちじく)	毎年 2人	1人
甘ひびき 作付割合	10%	3%

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- K P Iの設定とP D C Aサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援

上乗せ交付以降は創意工夫を凝らした
先導的な事業にのみ交付！
自立自走、官民連携、政策間連携等が必須



※ 人口、財政力指数等の客観的基準により交付

	名称	種類	事業費 (交付額) (千円)	目標値	単位	実績値
1	中小企業ビジネス支援事業 (ABC開設準備に係る業務等)	推進 交付金	10,123 (5,061)	創業者数	97 人	113
2	中心市街地活性化推進事業 (コワーキング施設運営管理)		12,700 (6,350)			

中小企業ビジネス支援事業

運営スタッフ育成研修

ABCの運営及び事業者の相談に対応する商工課・商工会議所スタッフ及びコーディネーターのスキル向上と相談体制構築のための研修会を実施。

1回目

- スタッフの役割
- 相談者の特性解
- 経営相談の流れ

2回目

- 連携支援機関
- ロールプレイング
①創業者 ②既業者

3回目

- サポート実績から見る支援方法
①マーケティング②PR
③人財採用 ④事業承継

4回目

- 現状分析の手法
- 強みの発見方法
- 強みの根拠
- 新たな戦略の策定

金融機関等連携スキーム構築

事業者の最も身近な相談機関としての金融機関とABCの連携を図るため、商工会議所が連携のためのスキームを構築。パンフレットを作成し、ABCの利用を促進。

- 市内金融機関との意見交換会(1回)
- 市内金融機関への説明・勉強会(1回)
- 税理士会への説明(1回)

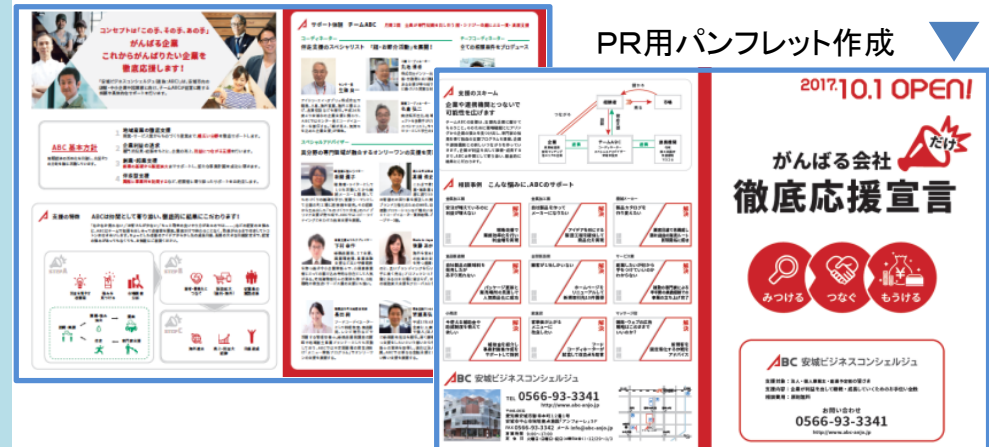
事務室用備品等一式整備

机・椅子・キャビネット等



簡易撮影セット一式

PR用パンフレット作成



中小企業ビジネス支援事業・中心市街地活性化推進事業

ウェブサイト作成



プロモーション動画(ランナー編)



プロモーション動画(南吉編)



コワーキング施設運営業務

- 運営開始：平成27年11月
- セミナー：7回開催
47人参加



28年度	目標値	実績値
創業者	97人	113人

- 固定席：15名/15席(満席)
- フリー席：5席をシェア(現在5名)